

### タイトル集

- 生徒第一！
- 生徒の心を意識した授業計画
- 生徒のための年間指導計画
- 授業の骨組みをつくる
- 生徒と教師、そして教材
- 年間指導計画をつくってみよう！
- 生徒目線のカリキュラム
- 生徒の生活に根ざした授業計画を！
- 国語の教科書で満ちた一年間
- 教科書の工夫、先生の戦術
- 見通しを立てよう
- 頭を悩ませる指導計画
- 生徒に合った指導計画
- 指導計画に生徒を忘るべからず
- 年間指導計画も「生徒」から
- 色々折り込む指導計画
- 生徒をうま〜くコントロールする計画表づくり
- パズルの如く指導計画を完成させよ！
- 年間授業作り〜時期と生徒を考えて〜
- 授業だけがポッカリ宙に浮いて存在するわけではない
- 指導計画案を作る
- タイミングって大事
- 生徒のことを想って〜年間指導計画案〜
- 年間指導計画案は気配りの塊だ！

### 感想集

① ●●

○自己PRはめちゃくちゃ緊張しました。これだけの人数なのに頭が真っ白になって、先生になれるのか少し不安になりました。年間指導計画は、様々な要素を考慮して作らなければならないのだと、自分で立ててみては初めて気がつきました。授業中だけでなく、授業を作る過程でも、生徒は第一に考えるべき存在なのだと思うことができました。

② ●●

○生徒の立場になって考えることを意識しました。浮足だった時期にはサクサク進めるものを、テスト前には根気強くやれるものを…と思います。やはり教師側の求めるものと生徒の学ぶ意欲が合致することが、大切なのだと思います。

③ ●●

○年間指導計画を作る上で考慮することは、難易度や季節、行事、生徒のやる気がある時期かなど、たくさんあることが分かりました。テストと長期休業の間の中途半端な時間や、行事の後の授業などは、特に工夫が必要だと思いました。

④ ●●

○実際に一年というスパンで見ると、色々な選択をすることができる。教科書の文章は、文学的に素晴らしいものばかりだが、生徒の状況次第では自分が用意するのもアリかなと思った。

⑤ ●●

○この教材はここでやろう、この表現はここでやろうと決めていても、誰のために授業をするのかを考えると、実際の生徒の様子が分からないと、検索対象が分からない状態で探しているようだと

感じました。教材選びって、難しいですね…。

6 ●●

○実際に計画を立ててみて、季節や配置、時間配分など、考えるべきことが多くて、大変なのだと感じました。計画の立て方の基本はあるようですが、そこに自分の工夫を加えることによる、年間の「国語」の全体像を考えていく仕事は、色々なイメージを膨らませられるので、先生としても楽しい仕事だなと思いました。

7 ●●

○自分は内山節の名前を見たとき、「科学技術批判」だと思い、すぐに評論（三）の「クローン問題」に飛びつきました。関連するものなら授業しやすいと思ったからです。一学期のはじめにクローンが来ているのを改めて見て、生徒目線でなかったと反省しています。色々と学びました。

8 ●●

○他の方が考えた年間指導計画では、「文化祭後」「入学したばかり」「夏休み明け」etc 生徒の目線に立ち、教材を選んでいるものが多かったのですが、私はこの視線を全く失念していたので、大変反省しました。

9 ●●

○年間スケジュールを考えるにも骨が折れそうです。時間数だけでなく、学校行事に合わせて生徒のモチベーションを考えたりと…。世の中の生徒は授業をしっかり聞くべきですね。しっかり聞かせるような授業を教師がすればいいのか。

10 ●●

○教科書の季節感や難易度に合わせた工夫に、高校時代の私は恐らく気づいてはいなかった。ただ、「順にやっている」という印象があっただけだったので、どの教材をどのように選び、どのような話題と組み合わせて話に深みを持たせるのか、それも限られた時間の中で…。大げさながら、先生の計画能力が試されると思う。

11 ●●

○みなさんのアイデアから、いろいろと学ばせてもらいました。実際の授業では、生徒の様子や学級の雰囲気を見ながら、計画案を変えていく柔軟性が必要になってくるのかな、と思いました。

12 ●●

○実際に年間指導計画を作成してみると、熟慮したつもりでも矛盾してしまうことが多く、難しく感じました。また、指導計画をつくるにあたって教師が向きあうべきは、教材よりもまず先に生徒たちであることを、改めて考えさせられました。

13 ●●

○同じ教科書でも、皆違った指導計画を立てていておもしろかったです。やりたい教材があっても、行事や休みを考えるとうまく合わなかったりして、組むのに苦労しました。行事や休み、その時期の生徒のモチベーションを考慮して組むことが大事だと思いました。

14 ●●

○内容のつながりや気温などの学習環境、学校行事、長期休みなど、さまざまな要素に関連させてそれぞれに皆違った年間指導計画を立てているので、とても参考になりました。聞いていて発見が多く、面白かったです。自分で計画を立てて気づいたのですが、高校の時にやった通りに順番をなぞりそうになりました。案外覚えているものですね。

15 ●●

○私は塾講師のアルバイトをやっていて、カリキュラムという授業計画を各生徒用に作るのですが、あくまで「塾」であるため、「学校行事」という視点はとても勉強になりました。やはり「生徒の分析」から始まるのだと、改めて実感しました。

16 ●●

○実際に計画を立ててみて、どの教材を使うかは少しはできましたが、その教材に何時間使うかが読めなくて難しかったです。自己紹介や行事のことも含めて考えることも大切だなと実感しました。私は作るのに時間がかかりましたが、先生はこれをどのくらいの期間で作るのでしょうか？

17 ●●

○自分が高校生の時の指導計画はどのようなものであったか、思い返してみると、よく練られていたなと思います。特に2学期は、文化祭→バザー→体育祭と行事が続き、校風も「しっかり行事をやる」学校なので、先生方も授業以外の仕事が多くて。ただ、「勉強も切り替えてやる」校風で、行事後、考査前は重いものをガッツリやっていました。色々思い返せて懐かしかったです。

18 ●●

○学校の行事や生徒のモチベーションなどを考えて授業計画を立てないといけないのだなあと思いました。話はまったく異なるのですが、生徒を引きつける時、導入などにどのようなことをしていますか？ 気になったので教えて下さい。

19 ●●

○実際に計画を立ててみると、想像していた以上に頭を使う作業なのだと思います。どうすれば生徒にとって最善の授業になるのか、生徒に有意義な時間を提供できるのか、スムーズに授業が進行できるのか、自分の高校時代をふりかえって考えてみます。

20 ●●

○高校時代に「水の東西」や「羅生門」を扱った授業を受けた記憶があります。そのような評論、小説はいいのですが、短歌や俳句などは授業で扱われなかったもので、どのように授業をしているのか分かりません。

21 ●●

○授業のほかにも学校生活の中には行事もあるし、長期休暇との兼ね合いもあり、その中でカリキュラムを構成しなければならない。言われてみれば当たり前の話ですが、指導計画案を作る際には失念していました。なるほど！と思い、聞いていました。

22 ●●

○今日の授業で年間指導計画を考えてみて、計画を立てるのはなかなか難しいものだと知りました。実際に授業をしていけば、思うように進まないと思うし、自分としては教科書の通りに進めていけば良いのではないかと考えていました。けれど、行事やテストに合わせて調整していくことも大切なのだと思いました。

23 ●●

○好きなように作ってみると、後で振り返ってみて、このタイミングでこれを入れないだろうというのがよく分かりました。また、教科書はバランスやタイミングを考えて作られていることが分かりました。もっと教科書を学生の時期に読んでおけばよかったと思いました。

24 ●●

○試験は意識していましたが、体育祭・文化祭のことはまったく考えずに組んでしまいました。たぶん教材の流れだけ見ればそこそこののですが、あまり（色んなことをやっている）生徒の立場を意識しきれていなかったと思います。大学生になって自分の興味あることを好きに研究する身になると、高校生の考え方にシンクロさせていくのは難しいと感じたりしています。

25 ●●

○生徒がやる気のあるうちに難しいものをしてしまうという考えや、自己紹介・オリエンテーションをするという考えは、思いつかなかったので、なるほどと思いました。行事と関連したことをやったり、夏休みの宿題を考えたりという所まで頭が回らなかったのも、考えるべきところがたくさんあるのだなと思いました。